



リザーブ™ CAP-e テスト結果

報告書の主体は本来、結果部分です。覚えておいていただきたいことは、**CAP-e** テストの目的は抗酸化が生きた細胞内に入り込み、酸化ダメージから生きた細胞を守ることが可能かどうかということです。保護的効果が見られ、IC50 に到達したことにより、**CAP-e** 数値を生成することが可能であり、製品には、かなり重要な生体的抗酸化浸透力と保護力が存在していると言えます。

このような複雑な製品は、とても異なる溶解性特徴をもった抗酸化成分物であるために、水溶性と非水溶性溶媒のどちらのテストでも、生きた細胞へ提供される抗酸化保護は最高の評価を得られると認められています。両方の抽出方法でテストを行うことにより、一方の溶媒だけのものに比べ、生体的活動と抗酸化保護をより幅広く理解することができます。

レスベラトロールが多くの抗酸化成分のひとつであることはご存知の通りです。この混合物にはいくつかが含まれていますが、水溶性のものに限られます。その結果水溶性抽出 **CAP-e** テストでは僅かしか現れません。その反対にエタノール **CAP-e** テストではより多くが現れることでしょう。

他の成分はその他の溶解性特徴があります。

これとは別に **CAP-e** テストからの追加利益として、バイオアッセイにさらにポジティブな結果が表れています。ジュネスリザーブ製品の **CAP-e** テスト結果がポジティブなため、NIS ラボ（研究所）ではさらに奥深いテストを続け、価値のある追加情報を生成したいと申し出ることでしょう。